



## 県内最終審査から東海審査へ

11月3日(金)ウィンターカップ武道館シリーズにて県内のA級最終審査が行われました。21名→9名に絞られた審判員が今まで研鑽してきたことをコートで発揮してきました。この9名の中から2月に行われる東海高校バスケットボール新人選手権にて行われる東海A級審査に進みます。

常日頃の活動が試される大会なので、何か特別なパフォーマンスをするのではなく、積み重ねてきたことをコツコツとゲームにアテンプトしていれば自然と結果はついてきます。緊張はしますが、普段のゲームの様に進めていけるようにアドバイスをしています。

今回の審査のテーマは「ゲームコントロール」対象者の方たちに送ったメールの内容を共有させていただきます。

## テーマ「ゲームコントロール」

研修会ではそれぞれテーマを設定し第1回は「コール・ザ・オブias」。第2回は「インテンシティ・コントロール」と進めてきました。最後のテーマは「ゲームコントロール」。適切なメカニクスとルールの理解、プレイコーリングをベースとしながら、ゲームが円滑に進むようにリードすることです。

今まで積み重ねてきたことを現場で発揮していただければと思います。

県内A級最終審査に残られている皆様ですので、プレイコーリングやメカIOTに関しては県内トップクラスの実力があると確信しています。

A級に上がるというのは、判定だけではない目に見えない何かを掴んでいかなければなりません。その何かを掴み始めた時に上級としての存在感が現れてきます。

少しでも具現化していくのであれば・・・

### ■クルーチーフメンタリティーの発揮■

→いつ誰がどんなケースに出くわすかわかりません。いざ自分の所に来た時に対応できるか、クルーが対応できなかった時のヘルプができていかなど

ゲームを引っ張るマインドを発揮できるかが問われます。

### ■デリバリースキルの発揮■

→ゲームを円滑に進めるための力のこたです。ベンチや観客に対して今何が起こったのか、どんな処置をするのかなどスムーズにプレゼンすることができると変な間が出来ずに会場にいる全員がゲームに集中してくれます。

### ■ベンチコントロール■

→コーチやベンチメンバーへの対応もゲームをクリーンにする鍵となってきます。毅然とした態度で対応するのも、オープンマインドで話を聞いてあげるのもスキルとなってきます。

場にフィットした対応がとても大切になってきます。

ただし、上記のことだけを実践すればゲームがクリーンに収まるとは言えません。ひとつひとつの要素を積み上げていくことが大切ですので、ぜひともクルーでトライしてほしいと思います。



PGCは当たり前に行います。クルーチーフのゲームプランやメカの再確認、プレイヤーの特徴などを共有してゲームに臨みます。



ハーフタイムでもゲームの流れやプレイヤーのファウル数、メカの修正などを共有し後半に臨みます。体は休めても、頭はずっとゲームに集中しています。

## 【完成】静岡県レフリージャンパー

「静岡県内でレフリージャンパーを揃えたい」という声に応えて、黒を基調としたデザインのレフリージャンパーを制作しました。

左腕には静岡県のロゴ入りです。

現在は、B級以上の展開となっております。

